

1 議事日程

[令和3年太宰府市議会 決算特別委員会]

令和3年9月14日

午前10時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 令和2年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
日程第2 認定第2号 令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第3 認定第3号 令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第4 認定第4号 令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第5 認定第5号 令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第6 認定第6号 令和2年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
日程第7 認定第7号 令和2年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	上	疆	議員
委員	柳原莊一郎	議員	委員	宮原伸一		議員
〃	船越隆之	議員	〃	徳永洋介		議員
〃	笠利毅	議員	〃	堺		剛 議員
〃	入江寿	議員	〃	木村彰人		議員
〃	小畠真由美	議員	〃	原田久美子		議員
〃	長谷川公成	議員	〃	藤井雅之		議員
〃	橋本健	議員	〃	村山弘行		議員
〃	陶山良尚	議員				

3 欠席委員は次のとおりである（1名）

委員 神武綾 議員

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（17名）

市長	楠田大蔵	副市長	清水圭輔
教育長	樋田京子	総務部長	山浦剛志
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部長	田中縁
都市整備部長	高原清	都市整備部理事 兼総務部理事	山崎謙悟
総務課長 併選挙管理委員会事務局長	川谷豊	納税課長	大谷賢治
人権政策課長 兼人権センター所長	河野貴之	国保年金課長	山口辰男
介護保険課長	立石泰隆	高齢者支援課長	行武佐江
元気づくり課長	安西美香	上下水道課長	田中潤一

上下水道施設課長 古賀良平

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（4名）

議会事務局長 木村幸代志
書記 平田良富

議事課長 花田善祐
書記 岡本和大

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） おはようございます。

再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第2、認定第2号「令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

特別会計については、事項別明細書の歳入から審査に入りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 恐れ入ります。昨日の委員会の中で、事務報告書の説明中、藤井委員の質疑におきまして、決算概要の職員数の基準日につきましてご質問があり、私が決算統計に基づく書類であり、3月31日であるとお答えいたしました。正しくは4月1日であります。おわびして訂正申し上げます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですね。

254ページ、よろしいですか。1款国民健康保険税から入ります。

1款につきまして質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） おはようございます。

国民健康保険税全般について、主には事務報告書の70ページのところを中心にお聞きしたいと思いますが、調定額と収納額のところがありますけれども、ここから見ると、コロナの影響といたしますか、コロナで滞納等が発生した、あるいはどういう影響があったかというのを国保税の部分でいうと、その辺の影響額はどのくらいになっているのかという現状、決算の見込みの中でお示しをいただきたいと思いますが。

○委員長（門田直樹委員） 納税課長。

○納税課長（大谷賢治） まず、令和2年度におきましての猶予の件数でございますが、国民健康保険税にありましては229万7,700円、件数が20件でございます。一方、国民健康保険税は減免制度がございましたので、減免制度のほうは令和2年度のほう、国民健康保険税、金額が

2,113万4,200円、件数にいたしまして114件でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、2款県支出金について、257ページまでですが、2款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、256ページ、3款財産収入、同じ4款繰入金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、258ページ、5款繰越金及び6款諸収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページの7款市債、261ページにまたぎますが、8款国庫支出金まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、終わりました歳出に入ります。

262ページですね。1款総務費について、265ページまでですね。1款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、266ページ、2款保険給付費、269ページまでですが、2款について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 保険給付費約4億円ぐらいですかね、減になっていると思うんですけども、この給付費、要するにコロナによって受診を控えているということなんでしょうけれども、これが今までの過剰な受診、また薬の問題があったのか、その辺の調査とかというのは、それかもう本当に我慢されて行ってないという方たちも多かったり、入院とかも少なかったりとか、様々な理由があると思うんですが、ここの4億円のところの調査というか、ここについての何か見解というのはありますか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） お答えします。

こちらのほう、前年度の決算額から見まして約4億円ほどの減となっておりますけれども、所管課としましては、まずコロナ禍による受診控えというのは、もう社会情勢上、通常言われておるところとっております。

それから別に、少子・高齢化による国民健康保険の被保険者の減少ですね、この部分も反映しているかと思えますし、併せて、非正規雇用者が、社会保険への加入の制度が変わりまして、社会保険に加入するよという制度が徹底されてきたことから、こちらのほうも被保険者の減少に影響しているというふうに考えております。

以上のことから、令和2年度におきましては、こちらの保険給付費のほう下がったのではないかと所管課のほうでは考えております。

以上でございます。

○委員長（門田樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。よく分かりました。非常にこの数字というのは大事な数字で、今後にどう影響していくか、単年度だけなのか、コロナ禍だけだったのかとか、これから非常に関わってくるし、減になったこの金額自体の考え方とか、またこれからの市の影響とか、その辺もしっかりと加味しながらこの数字については見ていていただきたいと思えますので、どうかよろしく願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、3款国民健康保険事業費納付金、271ページまでですが、3款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、4款共同事業拠出金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページの5款保健事業費、これはずっと行きまして275ページまでですね。5款について質疑はありませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 特定健診に関連してお伺いさせていただきます。

まず、事務報告書に保健事業で特定健康診査の状況というのは表のほうが出ておりますけれども、まずこれに関してお伺いしたいのが、この表に関しては、273ページの委託料にあります歯科健診の数字は入っていないものとして理解してよろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） こちらのほう、歯科健診のほうについては、この数字とはまた別となっておりますので、入っておりません。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） すみません、資料を要求すればよかったですけれども、歯科健診の状況について、40歳、50歳、60歳、10歳刻みで対象が今事業をされていると思えますけれども、私のところにも送られてきたので、近々利用しようと思っているところなんですけれども

も、それについての受診率とといいますか、全体で構いません、どういうふうになっているのかだけお示しいただければと思います。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） すみません、歯科健診のほうにつきましては、今ちょっと手元に資料がございませんので、後ほどお答えさせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 急ぎません。後日でも結構ですので、お願いいたします。

その上で、また後日それもお伝えいたします。今日は了解いたしました。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（藤井雅之委員） はい、結構です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 同じところの質問なんですけど、事務報告書の71ページで4番、保健事業。受診率が30.4%、やはりこれも、これはコロナ禍の影響がありますか。昨年よりどうなんでしょう、比較して。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） こちらの受診率でございますけれども、ここ数年、この30%台前後を推移をしております、コロナ禍の影響が出てくるのが、内容的には集団健診の関係になりますけれども、令和元年度は集団健診31回、それから令和2年度は当初32回を予定しておりましたけれども、緊急事態宣言の関係で月数を2か月ほど減らされたということで、そこは後ろのほうの日程にある程度後から追加日程をしまして、何とか29回を確保できたということになっております。それから、令和3年度につきましては、ワクチン接種会場等の使用がございますので、何とか今現在では23回を予定しております。できるだけこの受診率を下げないような努力をしておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これはメタボも含まれていると思うんですが、メタボ健診ね。近隣市との比較とといいますか、状況、この受診率、これは太宰府は低いほうですか、どんなでしょう。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） 大体近隣5市の中では中ほどではありますけれども、県平均と比較しますと低い状況にあります。そのため、先日来からお話をしていますP F S事業を活用しまして、次年度以降しっかり事業を行って、この受診率、受診者数を伸ばしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 5年ぐらい前から健康づくりポイント事業、これが始まりましたよね。これもやはりこういった受診率を伸ばすという、アップさせるという狙いがあったと思うんですけども、これは健康診断を受診される方のポイントをかなりぐっと上げたらどうかなというふうに、そういう検討はされていませんか。500なら500ポイントぐらいあげるよと。

○委員長（門田直樹委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 昨年からの見直しの中では、健診を受診というところを5,000ポイントのポイント交換のところでは必須という形にしております。ただ、今年度の状況としましては、コロナのやはり影響を受けて、各自治会等での取組も少なくなっておりますし、全体数としては全体的に参加者が少し減っている部分もありますので、また今後その中で健診をどのようにしていくか、あるいは歩くこととかほかのことも含めまして、よりよくそのポイントの活用というのを検討していかなければならないというところで考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） コロナ禍が収束したら、ぜひ思い切った政策をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6款基金積立金及び7款公債費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同ページ、8款諸支出金、次の次までですが、8款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、276ページ、9款予備費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、278ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換はございますか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号「令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、
認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第2号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成16名、反対0名 午前10時14分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第3、認定第3号「令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

282ページ、1款保険料から入ります。

1款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款使用料及び手数料及び3款繰入金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4款諸収入、285ページまでですが、4款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、284ページ、5ページの5款の繰越金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

286ページ、1款総務費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款諸支出金、289ページまでですが、2款について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、3款予備費について質疑はございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、290ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換は何かご希望ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号「令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第3号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成16名、反対0名 午前10時16分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第4、認定第4号「令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

最初に、保険事業勘定から審査を行います。

298ページ、1款保険料から入ります。

1款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款使用料及び手数料について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款国庫支出金、301ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 委員長（門田直樹委員） 同ページ、4款支払基金交付金について質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 5款県支出金、303ページまでですが、5款について質疑はありますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 6款財産収入について質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、7款繰入金、305ページまでですね、7款について質疑は
ございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 304ページの8款繰越金について質疑はありますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 9款諸収入、307ページまでですが、質疑はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） 歳出に入ります。
308ページ、1款総務費、ずっと行きますと313ページまでですね。1款につきまして質疑は
ございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（門田直樹委員） それでは、312ページの2款保険給付費、これも数ページ、321ページ
までですね。2款。
橋本委員。
- 委員（橋本 健委員） 315ページの住宅改修費、001の細目。改修費なんですけど、事務報告書を見
ますと125件で1,190万円かかっているわけですね。大体平均しますと9万7,000円ぐらいで
したかね。これ1件当たりの改修費の限度額というのはお幾らでしょうか。
- 委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。
- 介護保険課長（立石泰隆） お一人当たり限度額が20万円までになります。
- 委員長（門田直樹委員） 橋本委員。
- 委員（橋本 健委員） 20万円ですね。その内容と、その手続の方法を教えてください。
- 委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。
- 介護保険課長（立石泰隆） 手続の方法は、サービスを受けられる方というのは要介護認定を受
けてありますので、ケアマネジャー、介護支援専門員がついていらっしゃいますので、その方
といろいろなサービスの内容について協議を行う中で、住宅改修というものが選択されてくる
と思います。そこからケアマネジャーと住宅改修の事業所と被保険者の方が相談されて、どう
いった内容をされるか決定されて、住宅改修業者または介護支援専門員のほうが市のほうに申

請に見える、ほぼそういうパターンになります。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 今の説明です。改修後、建築費用を市のほうに申請するということですか。順番。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（立石泰隆） 改修前に、どういった改修をするかというものをまず事前に申請をしていただきます。それに対して申請の可否の許可を出しますので、それで改修をしていただいて、改修後の報告と同時に改修費の請求のほうが行われるというような手続の順番になります。

○委員（橋本 健委員） 分かりました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、320ページ、3款地域支援事業費、329ページまでですね。

3款について質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 328ページの4款諸支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、330ページ、5款基金積立金及び6款予備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、332ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で保険事業勘定についての質疑を終わります。

次に、介護サービス事業勘定に移ります。

336ページ、1款サービス収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 続きまして、2款繰入金、3款繰越金、4款諸収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

338ページ、1款総務費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2款諸収入及び3款予備費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、340ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で介護サービス事業勘定についての質疑を終わります。

それでは、再度、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について総括的な質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換される方、おられますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これから討論を行います。

討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号「令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第4号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成16名、反対0名 午前10時23分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第5、認定第5号「令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

344ページ、1款財産収入から入ります。

1款財産収入、2款繰入金、3款繰越金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、同ページ、4款償還金、これは最後までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 歳出に入ります。

348ページ、1款総務費並びに2款基金積立金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、350ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 事務報告書の75ページで質問させていただきます。

事務報告書には、細分にわたって住宅新築、宅地取得、住宅改修というような形で小分けにした数字が今出ておりますけれども、ただ実態を言えば、例えば住宅新築と宅地取得、同じ方がそれぞれに分けられているというふうに、これ表の見方としてはそういうふう理解してよろしいですか。

○委員長(門田直樹委員) 人権政策課長。

○人権政策課長(河野貴之) お答えいたします。

今藤井委員がお尋ねのとおりで、一括、総体的にしてということで、同じ方が幾つか制度を利用して借入れをしてありますので、その分の償還金ということでご理解でよろしゅうございます。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) 藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) そうすると、合計の252人というところよりも、もう少しこの数字は低くなっていくのかなと思いますけれども、事務処理において、今分割して返済をされておられる方の部分の事務処理はどういうふうになっているんですか。例えば住宅新築と宅地取得両方に区分されている方が幾らか払われたとき、それはもう担当課の裁量の中で、ここの返済額の部分の処理はされているんですか、今実情は。

○委員長(門田直樹委員) 人権政策課長。

○人権政策課長(河野貴之) お尋ねのとおり、例えば月々1万円の返済とか、定額で、例えば年金が入ったりとか、あるいは毎月定額とかで返済される方がおられますけれども、お尋ねのとおり、この幾つか項目があるうちの残額を案分してということで、今償還金収入に上げさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） 意見交換はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号「令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第5号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成16名、反対0名 午前10時27分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第6号 令和2年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第6、認定第6号「令和2年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

1ページ、令和2年度太宰府市水道事業報告書から入ります。

1ページの概況について、3ページまでですね、1ページから。質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、4ページ、5ページまでですね。工事について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 4ページですが、配水管布設替えのところで、国分地区ですね、下から4番目の2,496万円、それと朱雀地区の一番下ですね、3,400万円、これは金額が違いますけれども、中の工事内容を見ますと、単純に配水管の長さが63.6m、一方、梅香苑の場合は172.3mとこっちが長いのに、金額がどうして逆に高いんだらうと、朱雀のほうがですね。この辺はちょっと素人目では分かりませんが、この工事内容についてご説明をお願いいたします。この違い。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（古賀良平） まず、国分地区の配水管新設の第2-1の工区の概要でございますけれども、国分の一丁目とか三丁目地内の老朽化した配水管の布設替え工事でございます。当時、令和3年度の工事の予定でございましたけれども、令和2年度の設計中に、ちょう

ど当該箇所でも漏水が発生をいたしまして、バルブが古くて完全に漏水が止まり切らなかったために、急遽事業年度を1年早めて、令和2年度に配水の布設替え工事を行った工事でございます。

それと、一番下の朱雀地区の配水管布設替えの第2-1工区の工事でございますけれども、これは鉄道の軌道敷で漏水が発生すると、鉄道の運行が止まるおそれの重要な事故になりますことから、軌道敷の横断管路の更新計画に基づきまして更新の工事を行うものでございまして、西鉄と協議を行いまして、立て坑とか推進工を決定しながら工事を行ったものでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ちょっとよく分かりません。これはまた担当課に行って詳しくお聞きしたいと思います。すみません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今の橋本委員の質問に対してですが、これ単純に見て、梅香苑の分と朱雀の分に関しては、DCIPのパイプのサイズがまず違いますよね。このサイズが違うことによって、やっぱり金額ががらっと変わってくると思うんです、これは。だから、そういうのも一緒に含めて説明してもらわないと、今の説明では多分分かりにくいと思うんですよ。基本的にはこういうサイズが値段がごろっと、多分1.5倍以上になるはずなんです。だから、そのところを説明してください。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（古賀良平） すみません。梅香苑地区の分に関しましては、3号線のバイパスのところに入れる基幹管路の径でございますので、この分ですらどうしても歩道に入れるというふうな形になりますもんですから、この2,200万円というふうな金額になっております。

国分地区に関しましては、先ほど言いましたように急遽工事を行いましたものですから、あと不断水とかそういったことを行わないといけなかったものですから、金額が少し上がっているというふうな形になっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（船越隆之委員） いいです。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6ページ、業務、8ページまでですね。業務について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 8ページ、上段の表の給水収益が、こちらのほう、8月の水道料の基本料金を減免したということで減ってくると。しかしながら、新しい生活様式で手洗いの励行とかで上水道使用量が増えるというところで、逆にそっこのほうが結構効果があったみたいで、ほぼほぼこれ給水収益が変わってないんですけども、しかしながら他会計からの2,400万円、これが減免分2,400万円をここに皆増というところで入れています。

この新しい生活様式で、上水道使用量というのはほぼ今後もこういう形が変わらない、増えてくるという形が続くと思うんですけども、要するに上水道としては非常にメリットがある、使ってもらえるということですけども、今後も続きますので、この増分に対してはどのように考えていますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） 今後に関しましては、今の状況を見ながら、この収益、コロナ禍が今後も続くということがございますので、その動向を見ながら対処していきたいと考えております。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 上水道としては経営的に非常にプラスになることですので、ちょっと注視しながら、恐らくこれからもこういう形の上水道の使用量というのは多分固定的にこの状態が続くと思われまますので、注視していただきたいと思います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（木村彰人委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9ページ、会計、10ページまでですね。会計について質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 11ページ、その他について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、12ページからの決算報告、ずっと行きまして、まず15ページまでについて質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、16ページ、損益計算書について、それと17ページまでについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、18ページ、剰余金処分計算書案について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、19ページ、貸借対照表、これは21ページまでについて質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 19ページの資産の部の下の部分と、併せてこれが監査委員の審査資料の66ページ、この流動資産の部分で、現金預金と未収金、この部分が令和元年度に比べて約2,200万円現金預金が減っています。それで、未収金のほうも2,000万円減っているんですけども、ここの内容、この理由をちょっと知りたかったんですけども。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） 未収金につきましては、会計年度を締めますのが3月31日なりまして、水道会計で預かりの分をまた下水道会計に戻したりいたしますので、その分の金額にもよりますので、このような金額になっております。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もう一つその上の、もう一回ちょっと、66ページの監査委員の審査資料の中で、現金預金が2,200万円減っているんですけども、これはどういうふうな形で処理をされたのか教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） この件につきましては、後ほどご説明いたします。すみません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。では、また後ほどお願いします。

では、22ページ、キャッシュ・フロー計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 23ページ、水道事業収益費用明細書、これはずっと続きまして26ページまでですね。質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、27ページ、資本的収支明細書、これも29ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、30ページからの固定資産明細書、あるいは企業債明細書、32ページまでについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは最後、33ページ、34ページの注記について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で質疑を終わります。

意見交換のご希望は。

はいどうぞ、小島委員。ページを言ってください。

○委員（小島真由美委員） すみません、30ページなんですけれども、固定資産明細書なんですけど、細かいことを聞くとまた時間かかりそうなんですけど、大まかに言うと、これ減価償却を考えた場合に、これから施設であるとか廃止等とかも、平成28年頃からアセットマネジメントの企業会計されていて、その成果というところをもうそろそろやっぱり考えないといけないと思うんですね。減価償却としてこれから問題になってくるような施設、そういったところはちょっと情報としてお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） ただいまご質問がありましたアセットマネジメントですけれども、平成28年度、平成29年3月にアセットマネジメントの計画策定をいたしました。こちらに基づきまして、現在も施設等の更新計画を実施計画に基づいて実施をさせていただいております。基本方針といたしましては、施設の老朽化等に対応いたしまして、延命措置を施すことによりまして老朽化対策を行っていくというのが基本方針でございます、なおかつ先ほど言われました施設の統廃合につきましては、市内各所にあります高所配水池あるいはポンプ等につきまして、こちらを廃止するために、高所配水池を1か所新たなところに造れば、そういったもろの、5か所以上それが統廃合できまして、電気代だけでも何千万円ということが浮くことができますので、そういう方向で今現在検討を進めているところでございます。

まだ事業のほうの具体的な着手にはまだ至っておりませんが、計画に基づいて今後進めさせていただきます。予定にしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。よく分かりました。非常に尽力されていることもよく分かりました。老朽化する配管とかとかの本当にたちごっこのような、今から大変厳しい企業会計になってくるとお思いますので、ぜひその辺の検討を早急をお願いをしたいと思います。要望です。ありがとうございました。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第6号「令和2年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第6号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

(原案可決及び認定 賛成16名、反対0名 午前10時41分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 令和2年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第7、認定第7号「令和2年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1ページ、令和2年度太宰府市下水道事業報告書から、まず概況、1、2ページについて質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3ページもその続きですが、ごめんなさい、4ページまで含めて質疑はございませんか。

よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5ページ、工事について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、6ページ、業務、これが8ページまでについて質疑はございませんか。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) 6ページの業務の中で、下水道普及率のほうは99.6%とほぼほぼもう100%に近いんですけども、これまだ残っている地区というのは大体どこら辺なんですかということ、毎回聞くんですけども、もうほぼ100%に近いということで、このペースでいくと、あと4年で100%にいきそうな気配なんですけど、令和6年度で100%を完了する見込みなのかを教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長(古賀良平) 大体残りに関しましては、北谷地区の筑紫野古賀線のところが少し残っておりますので、そこのところがメインなところでございます。あとはそれぐらいな

っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 終わるか終わらんか。いや、終わるか終わらんかというのを聞いていたと思うが。

上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（古賀良平） すみません。それで、用地の交渉が終われば、それに基づいて工事を行っていくような形になっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9ページ、会計、9ページからの会計、11ページまでですね。会計について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 1ページ戻りますけれども、8ページの事業収入のところ、ちょっとお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 許可します、どうぞ。

○委員（木村彰人委員） 下水道使用料のほう令和元年に比べてこれマイナスなっているんですけども、これ有収水量自体は増えているんですけども、これ何で下水道使用料がマイナスになっているのかを教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） この分につきましては、昨年8月に下水道使用料の基本料金の減免を行っている分ということになります。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 上水道については、その使用量という、料金じゃなくてボリュームですよ、それで逆にとんとんいったわけですけども、下水道使用料については減免のマイナス部分が効果が大きかったというわけですね。使用量自体も増えているんですけども、減免の金額が大きくてマイナスに至ったということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） 今委員が言われたとおりでございます。

今の分ですみません、訂正いたします。水道料金と比べますと、水道料金は確かに基本料が高うございまして、下水道使用料のほう低いということもありまして、そのような数字となっております。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら逆じゃないですかね。下水道の基本料が安かったら、それを減

免したら影響が低くて、逆に使った量、排出した量が多ければ、逆にプラスに転じるんですか。

○上下水道課長（田中潤一） すみません、訂正いたします。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） 申し訳ございません。今委員の方が言われたとおり、私の説明が逆になっておりましたので、申し訳ございません。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（木村彰人委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 12ページから15ページまでですね。下水道事業決算報告書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、16ページの損益計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 17ページ、剰余金計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 18ページ、剰余金処分計算書案について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、19ページ、貸借対照表、20ページまでですね。負債、資本まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、21ページ、キャッシュ・フロー計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、22ページからの収支費用明細書、24ページまでですかね。質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、25ページ、資本的収支明細書、次ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、27ページからの固定資産明細書、続きまして企業債明細書が31ページまでについて質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、32ページ、33ページの注記に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換される方はございますか。意見交換。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第7号「令和2年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第7号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成16名、反対0名 午前10時50分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

以上で決算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

上下水道課長。

○上下水道課長（田中潤一） すみません、先ほどの水道事業会計の分につきまして、現金預金が令和元年度に比べまして2,000万円減っていることにつきましてご回答いたします。

この分につきましては、年度内の工事等が終わって、その分の支払いの分でその年度内に支払いができたということで、この分が減っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

何というか、資料要求をことごとくするのはもっと負担になるけれども、ただ、もともと目を通して疑問点というのは、事前にちょっと連絡して数字あたりをしていただけるとスムーズ

に進めるので、ご協力よろしくお願いします。

いいですね。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時52分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和3年11月15日

太宰府市決算特別委員会委員長 門 田 直 樹